



# 西村クリニック 第49号



新年あけまして  
おめでとうございます



発行元

四條畷市楠公 1-14-6

西村クリニック

072-862-3001

南海の皇帝を憐（しゆく）と言い、北海の皇帝を忽（こつ）  
と言い、中央の皇帝を渾沌（こんどん）と言いました。  
忽がある時、渾沌の地で出会いました。渾沌は両者を厚くも  
てなしました。そこで  
して言いました。

「人は皆、七つの穴（目二つ、鼻二つ、耳二つ、口一つ）  
が備わっていてこれらをもつて見たたり聞いたり食べたり呼  
吸をしている。しかし渾沌には七つの穴がない。ためにしこ  
の穴を開けてあげようではないか。」一日に一つ穴を開け七  
日たつと渾沌は死んでしまいました。これは中国の戦国時代  
の莊子の中の一篇であります。この短い文章  
は一体何を物語っているのでしょうか。



単純に考えればお節介は良くないと解釈でき  
ますが、もっと深く考えようと決まると解釈も出まます。

即ち人間の知恵では一見意味がない様に見えるものでも  
遙かに意味をなしており、自然は一見秩序の様に見えてい  
ても秩序立っており、人間の乏しい知恵では到底判別につか  
ない創造を越えた世界であると考えられます。

そしてまた「渾沌」という言葉は物事の区別がはつきりせ  
ず、もやもやとした状態を表す言葉とされており、先日ノー  
ベル医学生理学賞を受賞した本庶佑さんはこの「渾沌」とい  
言葉が好きでよく使われたそうです。自然科学というものは  
「渾沌」とした現象の中から驚くべき自然の秩序と法則を  
見い出す。即ち「渾沌」としたの中から新たな発見をす  
るのが使命だと考えておられた様です。

さてまた新しい年がやって来ました。新しい年もまた「渾  
沌」とした状態が続くかもしれません、生きていく限り  
「渾沌」としたものから新たな自分、新しい人生を発見すべ  
く努力しなければならぬと思う次第であります。

院長 西村 章

いよいよ受験の季節がやってきました。ご本人はもちろんの  
こと家族のみなさまのご心配も察するに余りあります。  
そこで今回は緊張を緩和する“ツボ”をいくつかご紹介させ  
ていただきます。まず、手の平の中央部分にある労宮  
（ろうきゅう）というツボを親指で揉みほぐしてくださ  
い。そして手首の内側にある内関（ないかん）というツ  
ボがあります。手首にある横に入ったしわの部分から指  
3本分あたりの腕の中央部分を  
親指で押さえると動悸が安定し  
ます。そして鼻から息を吸い  
酸素をいっぱいこの日まで  
大活躍してくれた脳みそに運びましょう☆多これでバツ  
チリです(^\_^)よい結果を心よりお祈りいたします♡



肺炎球菌の予防接種はお済みですか？インフルエンザの  
予防接種と当日同時に接種可能です。受診券と国民健  
康保険を必ずお持ちになってご来院ください。肺炎球菌  
については接種後15分程ご様子を見させていただきます  
ますのでお時間のある日にご来院ください。

咳エチケットを守りましょう。インフルエンザ等は咳  
や鼻水なので飛沫感染です。手洗いやウガイを徹底し  
咳をしている患者さんは“マスク”をしてください。



今年も縁起物の干支の  
置物を信楽に買いに行っ  
てきました。今年も皆さま  
のご健康を心よりお祈り  
いたします



↑ 診察室に  
飾ってあります  
(\*^▽^\*)

## 編集後記

毎月みなさまに楽しみにしていただいて  
西村クリニック便りも49号となりました♡  
上記のバーコードから  
当院のホームページも見いただけます